

# 防災あいずみ

令和2年10月15日発行 第30号

発行元：藍住町総務企画課危機管理室

電話 637-3111

## 家具転倒防止器具を取り付けましょう

### ○家具転倒防止器具とは？

地震が起きても家具が倒れにくくなるよう、家具と天井又は壁を固定する金具等の器具です。地震対策に最も安価で効果が大きいとされています。

### ○なぜ家具転倒防止対策が必要なの？

阪神・淡路大震災では、家具類の転倒・落下や割れたガラスによる負傷者が、全体の約3～5割を占めています。また、地震の際に転倒した家具類が通路やドアをふさぎ、外への避難が困難になるおそれもあります。自分や家族の負傷を防止し、避難の妨げとなる障害物の発生を防ぐために、家具転倒防止対策が非常に大切です。

家具転倒防止器具の購入や取り付けの際は、補助金制度がありますので、ぜひご活用ください。また、家具転倒防止器具は、正しく取り付けなければその効果が半減してしまいますので、取り付けの際は専門業者に依頼する事をお勧めします。

## 家具転倒防止器具等取付支援事業

### ◆要件

本町に住所を有し、かつ、居住し、本町における町税等（町税及び国民健康保険税）の滞納がない方

### ◆内容

家具転倒防止器具やガラス飛散防止フィルム等の購入及び取付費用の補助

**（購入や取り付け前に必ず総務企画課危機管理室で申請手続きをしてください。）**

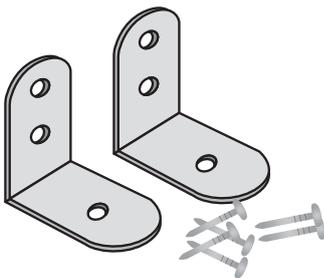
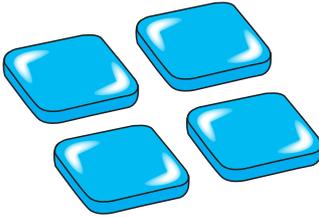
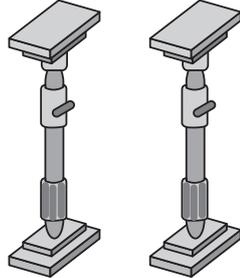
※取付費用の補助については、家具転倒防止器具等取付講習受講事業者が施工した場合に限ります。

（事業者一覧は総務企画課危機管理室でお渡しできます。）

### ◆補助金額

購入及び取付費用の1/2以下で、最高1万5千円まで

### ◆家具転倒防止器具（例）

L字金具	粘着マット式	ポール式
		
家具と壁を木ネジやボルトによって固定するタイプ	粘着性のゲル状のもので、家具の底面と床面を接着させるタイプ	壁などにネジ固定せず、家具と天井のすき間に設置する棒状のタイプ

## 災害時における避難とは

「避難」とは、「難」を「避」けることであり、安全確保が可能な人は、新型コロナウイルス感染症が流行している中、感染リスクを負ってまで避難所へ行く必要はありません。ハザードマップなどを改めて確認していただき、災害の危険性を把握し、ご自身の避難行動について検討をお願いします。

また、避難所が過密状態になることを防ぐため、安全な地域にお住まいの親戚や友人の家等への避難の検討をお願いします。



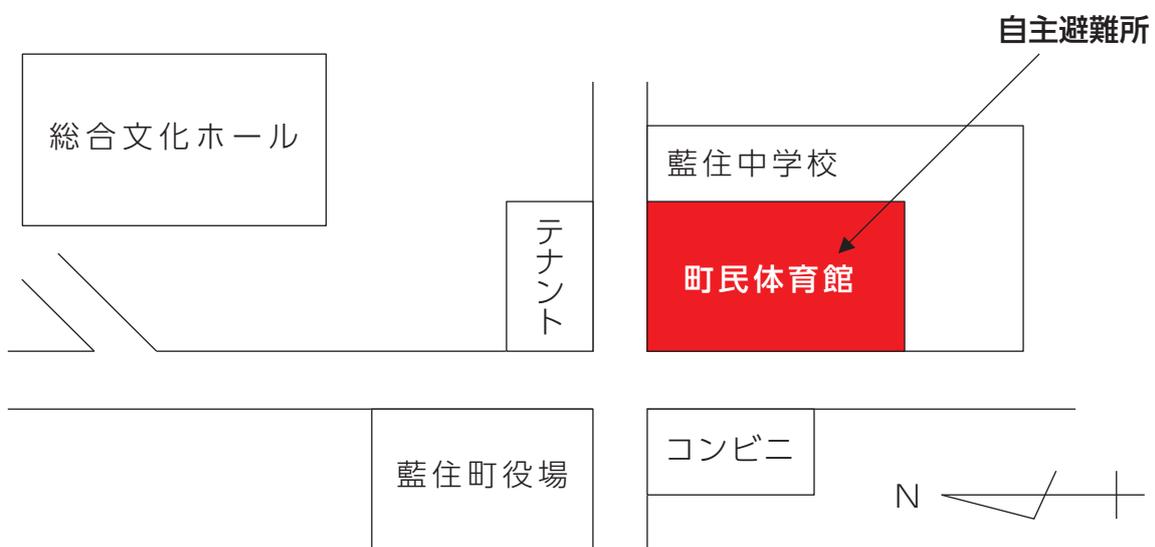
## 自主避難所利用について

初夏から秋にかけては、台風や前線の影響で、大雨、洪水、暴風による自然災害が発生しやすい季節です。台風時等における本町の自主避難所は、町民体育館です。皆さんが早めの避難などの防災行動をとることができるよう、自主避難所を開設した場合は、藍メール、町ホームページ及びエーアイテレビ等でお知らせします。

自主避難は、大雨・洪水警報発令時や台風接近による災害発生が予想される場合に、町が発令する避難情報より早く、自分の判断で避難することです。

なお、自主避難所の開設は避難場所の提供を目的としていますので、避難前に各自で可能な限り必要な物（水、食料、マスク、消毒液、体温計、常備薬、着替え等）の準備をお願いします。

※自主避難所の開設前は、避難の受け入れができませんので、避難前に開設状況を必ずご確認ください。また、避難所では新型コロナウイルス感染症対策のため、マスク着用及び検温等を実施しますので、ご協力をよろしくお願いします。



## インターンシップ受け入れ

8月、四国大学から2名の学生（岡部さん、田淵さん）をインターンシップ研修生として受け入れました。

研修期間中、防災関係の業務に携わってもらい、役場1階にある防災展示コーナーを来庁した住民の皆さんに興味を持っていただけるような配置や装飾にするためのアイデアを企画・提案してもらいました。また、実際に飾り付けの制作をしてもらい、防災展示コーナーを変更しました。



左：田淵さん 右：岡部さん

研修終了後、お二人から「防災のことについての知識を高めることができ、貴重な経験になりました。」と感想をいただきました。

お二人が制作した飾り付けは、カラフルで手づくりの温かみがあり、住民の方からも「見やすくなった」などの意見をいただいています。

役場にお越しの際は、ぜひ1階の防災展示コーナーをご覧ください。

今回の経験がお二人の今後の進路に活かされることを期待しています。

## 『自分たちの地域と命は自分たちで守る』

自主防災組織とは、日頃から地域住民が自主的に協力・連携し、災害から「自分たちの地域は自分たちで守る」という「共助」の精神に基づいて結成した「地域防災の中核」となる組織のことをいいます。

地震や津波による大規模な災害は、同時多発的に被害が発生します。そのとき消防をはじめとする防災関係機関は全力を挙げて、被害の拡大を防ぐ活動（公助）を行いますが、発災時は地域住民の連携による自主防災活動が災害による被害を軽減（減災）させるために不可欠となります。

こうした自主防災活動は、一朝一夕で成し得るものではありません。

そのため、日頃から、防災に関しての問題意識を持ち、住民一人一人が自分の身は自分で守り（自助）、地域住民が互いに協力し自主防災活動に取り組むこと（共助）が重要になります。

過去の災害の中でも、阪神・淡路大震災は、広範囲で建物が倒壊し、数多くの方が犠牲となった非常に大きな災害でした。この震災では、倒壊家屋に閉じ込められた人の多くは、家族や地域住民による活動によって救助され、行政の支援が行き届くまでの間、地域の連携・協力により様々な自主防災活動を通じて、地域の被害を最小限にとどめるなど、改めて『**自主防災組織=共助**』の重要性を教訓として示しました。この教訓を忘れることなく、「自助・共助」に基づく地域防災力向上の鍵となる自主防災組織を積極的に結成し『**災害に負けないまちづくり**』を進めていきましょう。

まだ、自主防災組織の未結成の地域は、ぜひ検討ください。

結成に関するご相談は、総務企画課危機管理室まで（Tel 637-3111）までご連絡ください。



## 災害協定を締結しました

ヤフー株式会社と板野郡の5町（藍住町、松茂町、北島町、板野町、上板町）が災害に係る情報発信等に関する協定を締結しました。

これによって、町が発信する避難勧告などの災害時の緊急情報をヤフー株式会社が提供する「Yahoo! 防災速報」サービスで住民の皆さんへお伝えすることができるようになりました。スマートフォン・携帯電話・タブレット端末・パソコンをお持ちの方はぜひご活用ください。

今後も様々な分野で幅広い機関との連携を強化し、大規模災害に備えていきたいと考えています。

携帯電話やパソコンをお持ちの方は、メールでお知らせする「メール版」をご利用ください。

メール版は、Yahoo! 防災速報のサイト

「<https://emg.yahoo.co.jp/>」の「パソコンやケータイの方はこちら」をご覧ください。





### 災害情報をいち早くお届け 防災速報

利用者数**1800万人**以上

**無料**



#### あらゆる災害情報をプッシュ通知でお知らせします

地震・津波・豪雨などの情報を迅速に通知します。通知のオン・オフも設定可能です。

- 地震情報
- 津波予測
- 豪雨予測
- 避難情報
- 土砂災害
- 熱中症情報
- 防犯情報
- 自治体からの緊急情報
- 国民保護情報 (Jアラート)

##### 緊急地震速報にも対応

地震による揺れをいち早く通知



##### 自治体からの緊急情報

自治体の情報が直接届く



##### 災害マップ

ユーザー同士で災害情報を共有



##### 防災手帳

避難場所リストなどの防災情報



**スマートフォンでも防災対策  
今すぐアプリをダウンロード!**

iPhone版  

Android版  

(<https://emg.yahoo.co.jp>)